

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科で、ST 上昇型急性心筋梗塞のカテーテル治療を受けた患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「ST 上昇型急性心筋梗塞における早期再灌流後心筋内出血と来院時高血糖との関連」

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学循環器内科学講座 教授 田中 篤

3. 研究の目的

カテーテル治療は ST 上昇型急性心筋梗塞の予後を改善する確立された治療法ですが、同時に一部の患者さんで心筋内出血を来すことが報告されています。心筋内出血が生じるメカニズムについて不明な点が多いのですが、過去の研究結果から、糖尿病の有無に関わらず来院時の血糖値が高いことが、Matrix Metalloproteinase-9 (MMP-9) という物質を介して心筋内出血を引き起こしているのではないかと、考えています。この研究では、来院時高血糖が心筋内出血に及ぼす影響について調査します。また、心筋内出血、来院時高血糖と MMP-9 との関連についても調査します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2011年1月1日から2016年12月31日までの期間中に、初回 ST 上昇型急性心筋梗塞でカテーテル治療を受け、さらに入院中に心臓 MRI 検査を施行された方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、血液検査データ、心臓カテーテル検査データ、心臓 MRI 検査画像データなど電子カルテ上のデータです。また、カテーテル治療で血栓吸引を施行された患者さんでは、吸引した血液内の Matrix Metalloproteinase-9 (MMP-9) のデータも利用させて頂きます。

(3) 方法

心臓 MRI-T2 強調画像所見により対象となる患者さんを心筋内出血の有無により 2 つのグループに分類します。心筋内出血を来す患者さんでは、どのような特徴があるのか、また、心筋内出血に関与する因子は何かを統計学的に検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

日本学術振興会科学研究費助成事業から得られた資金で研究を行います。利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科学講座 担当医師 田中篤、太田慎吾

TEL : 073-441-0621 FAX : 073-446-0631

E-mail : a-tanaka@wakayama-med.ac.jp、shingota@wakayama-med.ac.jp